04

研究費に関しては、経理上研究費の項目として計上されていない場合でも、研究のために使用した経費を分離して記入してください。
また、現物収入又は現物支出の場合には、時価に評価して含めて記入してください。

【8】社内で使用した研究費を記入してください

○　自己資金、社外から受け入れた資金を問わず社内で使用した研究費の１年間分を記入してください。
なお、研究部門と他の部門とに分けて算出することが困難な場合には、あん分した金額を記入してください。

		千億 百億 十億 億 千万 百万 十万 万 円
総額（092～094、098、100、101の計）	091	
人件費 ①	092	
原材料費 ②	093	
有形固定資産の購入費 ③	094	
土地・建物など	095	
機械・器具・装置など	096	
その他の有形固定資産	097	
無形固定資産の購入費 ④	098	
うちソフトウェア	099	
リース料 ⑤	100	
その他の経費 ⑥	101	
有形固定資産の減価償却費 ⑦	102	

①　「人件費」とは、研究関係の従事者に対して１年間に支払った給与等（基本給、諸手当、賞与等で定期・臨時に支払われたもの）の総額（所得税、地方税、保険料などを差し引く前の総額であって、いわゆる手取り額ではない。）のほか、退職金、社会保険料などを含めたもののうち、研究のために要したものをいいます。
　給与等を支給している社外への出向者がいる場合は、その者の給与等も「人件費」に含めてください。

②　「原材料費」とは、研究のために要した主要原料費、主要材料費、補助材料費、部分品費、試作品費などを含めた総額をいいます。

③　「有形固定資産の購入費」とは、研究に必要なすべての有形固定資産の購入費をいいます。
・　土地・建物など－土地、建物（附属設備を含む。）、構築物、船舶、航空機
・　機械・器具・装置など－耐用年数１年以上でかつ取得価額が10万円以上の機械、装置、車両、その他の運搬具、工具、器具及び備品
・　その他の有形固定資産－建設仮勘定、固定資産として扱われる動植物

④　「無形固定資産の購入費」とは、研究に必要なすべての無形固定資産の購入費をいいます。
・　うちソフトウェア－１年以上にわたって使用される取得価額が10万円以上のソフトウェア

⑤　「リース料」とは、研究のためにリース契約に基づいて支払った金額をいいます。土地、建物の貸借、短期間のレンタル、チャーター等は含みません。

⑥　「その他の経費」とは、研究のために要した図書費、光熱水道費、消耗品費等を含めた総額をいいます。

⑦　「有形固定資産の減価償却費」とは、研究のために使用された建物、構築物、船舶、機械、車両などの有形固定資産に対する減価償却費をいいます。

【9】理学、工学、農学、保健の性格別研究費を記入してください

○　「【8】社内で使用した研究費」の「総額」のうち理学、工学、農学、保健の自然科学に関する研究費を性格によって分類し記入してください。分類単位は原則として研究テーマごとに行いますが、それが困難な場合には、研究者又は研究室ごとに分類しても差し支えありません。

		千億 百億 十億 億 千万 百万 十万 万 円
総額（104～106の計）	103	
基礎研究費 ①	104	
応用研究費 ②	105	
開発研究費 ③	106	

分類の一般的定義は以下のとおりです。

①　基礎研究
　特別な応用、用途を直接に考慮することなく、仮説や理論を形成するため又は現象や観察可能な事実に関して新しい知識を得るために行われる理論的又は実験的研究をいいます。

②　応用研究
　特定の目標を定めて実用化の可能性を確かめる研究や、既に実用化されている方法に関して新たな応用方法を探索する研究をいいます。

③　開発研究
　基礎研究、応用研究及び実際の経験から得た知識の利用であり、新しい材料、装置、製品、システム、工程等の導入又は既存のこれらのものの改良をねらいとする研究をいいます。